

【建設通信新聞 令和7年3月7日】



対象区域拡大しPR

群馬建協がハローワークたかさぎでセミナー

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は人手不足対策の一環として、高崎市のハローワークたかさぎで建設業セミナーを開いた。群馬労働局高崎公共職業安定所が共催した。建設業界に対する理解を深めてもらうことで、今後の就業機会につなげるのが狙い。土木や建築の仕事に興味を持つ13人が参加した。写真。

建設系資格を持たない人、未経験者も対象とした。これまでハローワークまえばしでセミナーを数回開催してきたが、対象区域を拡大した。

セミナーでは、同建協総務企画委員を務める沼田土建の武田寛副社長が「かたちになる『やりがい』—今、建設業がおもしろい」と題し、建設業の概要と役割、建設業の現状と課題、同建協の活動などを説明した。地域を守る建設業協会として国や県と災害協定を締結し、X（旧ツイッター）を活用して災害時の情報を発信していることも紹介した。

今月1日から全国全職種平均で6%上昇となる建設工事の設計労務単価も示し、生涯を託せるやりがいのある産業であることをアピールした。



群馬県建設業協会（群馬建協、青柳剛会長）は、群馬県高崎市のハローワークたかさき（高崎公共職業安定所）で「建設業セミナー」を2月20日に開催した。写真（群馬建協提供）。ハロー

ワークたかさきとの共催。建設系資格の有無や経験を問わず、土木や建築の仕事に関心がある者を対象とし、13人が受講した。講師は同建協総務企画委員の武田寛氏（沼田土建副社長）が務めた。

保につなげてもらう。壇上に立った武田氏は、「かたちになる『やりがい』」と「今建設業がおもしろい2025」をテーマに講演。▽建設業の概要と役割▽建設業の現状と課題▽群馬建協等の活動▽「年縞博物館」

工事会社の違いなど基本的な事項を確認した。続けて、国土交通省の資料を示しながら、公共事業関係費や建設業の就業・離職事情、建設キャリアアップシステム（CCUS）などを説明。1日適用の公共工事設計労務単価が全国全職種で平均6%上昇することにも触れ、「生涯を託せるやりがいのある産業」と強調した。

建設業のやりがい伝える

沼田土建の武田氏が講師

群馬建協 ハローワークでセミナー

同セミナーは建設業界の（福井県若狭町）から学ぶ人手不足対策の一環として、過去に前橋エリアで数回開催した。高崎エリアに

冒頭、インフラ整備や災害復旧を担う建設業の業務フローをはじめ、土木と建築の違いやゼネコンと専門

後半は同建協が推進している人を育てる、地域を守るための活動などを紹介。全国建設業協同組合連合会（全建協連、青柳剛会長）

が取り組んでいる業界全体の魅力や誇り、やりがい創出を図るプロジェクト例も示した。